

記入例

SP ①

テイクオフ奨学金(大学院)申請書

フリガナ	マルヤマ マルコ	生年月日(西暦)			
本人氏名	○山 ○子	1999 年 6 月 1 日	写真 (縦4.5×横3.5cm) 申請時3ヶ月以内 カラー 正面、無帽、無背景 裏に氏名を記入		
フリガナ	ナガサキケンマルマルシマルマル				
現住所	〒 850-0000 長崎県○○市○○1-2-3				※マンション・アパート名を省略せず、部屋番号まで書いてください。
本人携帯電話	××× - ××× - ×××				※携帯電話を持っていない場合は、「なし」と記入してください。
大学院名	○○大学大学院	研究科 / 専攻	○○研究科 ○○専攻		
学校所在地	〒 850-0000 長崎県○○市○○10-9-8				
卒業大学名	○○大学	卒業大学 学部 / 学科	○○学部○○学科	(2022年3月卒業)	
卒業高校名	○○県立 ○○高等学校	卒業中学校名	○○市立 ○○中学校		
フリガナ	マルヤマ マルマル	身元保証人の 本人との続柄	母		
身元保証人 氏名	○山 ○○				
フリガナ	ナガサキケンマルマルシマルマル				
身元保証人 住所	〒 850-0000 長崎県○○市○○1-2-3				
身元保証人固定電話	××× - ××× - ×××	身元保証人携帯電話	××× - ××× - ×××		

身元保証人は書式SP3に記入した申請者の父または母、共にいない場合は申請者の家計を支える者(いずれも緊急時の連絡先となる者)を記入してください。

「バシーポリシー」の義務」を遵守することを誓約し、願一式を添えて申請いたします。

高認資格で進学した場合はその旨および最終在籍校名と学年を記入してください。

記入日

申請者本人署名

2022 年 3 月 20 日

申請人本人が自筆で署名してください。
捺印は不要です。

記入例

SP ②

申請理由書

大学院名	〇〇大学大学院	研究科 / 専攻	〇〇研究科 〇〇専攻
修学期間	2022年 4月から 2年間	受験方式	一般 <small>※一般、推薦等を記入</small>
入学金	28 万円	年間授業料	53 万円

金額の記入は1万円未満を切り捨ててください。

応募動機

※ なぜその大学院、その専攻等を選んだのか記入してください。

奨学金応募理由

将来の希望進路 ※現時点での希望であり、卒業後の進路を強制するものではありません

資格や表彰歴を含め、その他特記事項があれば記入

※ 高卒認定資格で大学へ進学した場合及び高等学校等を中途退学している場合は、その理由・経緯を記入してください。

※ 海外の大学院に進学する場合は、渡航の時期(予定)、TOEFL、SATといったテストのスコアを記入してください。また特別なカリキュラムがある場合は、概要を記入してください。

例: 渡航予定時期: 20××年●月●日 TOEFL: 〇〇点

記入例

SP ③

家庭状況調査書

同居・別居を問わず生計を共にする全ての家族を記入してください。別居していても生活費等をすべて負担していれば同一生計となります。

(1) 家族構成

就学者以外	続柄	氏名	年齢	勤務先 / 職種	続柄	氏名	年齢	勤務先 / 職種
	母	○山 ○○	48	○○株式会社/事務	祖母	○山 ××	76	無職
	姉	○山 △△	25	○○株式会社/アルバイト				
	兄	○山 ◇◇	23	株式会社○○/営業				
本人以外の就学者	続柄	氏名	年齢	在籍学校名		学年	通学区分	
	弟	○山 ○◇	19	国立 ○○大学		1年	自宅 / 自宅外	
	妹	○山 □□	16	長崎県立 ○○高等学校		1年	自宅 / 自宅外	
				立		年	自宅 / 自宅外	
				立		年	自宅 / 自宅外	

年齢、学年は記入日を基準に記入してください。

(2) 令和2年1月～令和2年12月までの1年間の所得金額

	続柄	給与所得	事業所得	其他所得と内容
①	母	250 万円	0 万円	0 万円
②	姉	0 万円	0 万円	0 万円
③	兄	200 万円	0 万円	0 万円
④	祖母	0 万円	0 万円	70 万円 (年金)
⑤		万円	万円	万円 ()
世帯所得(①から⑤の総合計)				520 万円

就学者以外の同一生計家族全員を記入し所得がない場合でも所得証明書を全員分提出してください。申請者本人が世帯主の場合は本人の所得証明書を提出してください。

所得証明書をよく確認し収入額ではなく所得額を記入してください。
※1万円未満は切捨

(3) 父または母と離別している場合は具体的に記入

父とは 2009 年 1 月に 死別 / 生別 (離婚 ・ 長期別居 ・ その他)

母とは 年 月に 死別 / 生別 (離婚 ・ 長期別居 ・ その他)

死別している場合は遺族年金の受給 有 (年額 万円) / 無

養育費など別生計からの支援 有 (年額 60 万円) / 無

(4) 父または母の失職など経済的観点から特別の事情があれば記入

例①: 母がガン治療中のため医療費の負担があり、経済的に厳しい状況です。

例②: 兄が2022年5月に退職予定で無職となるため、世帯所得が少なくなります。

SP ④ 初年度資金計画書

(1) 進学後の住居予定

1人暮らし 学生寮 親元 兄弟・親戚宅（続柄： ）

その他 友人と共同で2Kのアパートを借りて一緒に住む予定です。

「その他」の場合は、具体的に書いてください。

(2) 進学から1年間に必要と考えられる金額

内容	金額(年額)
入学金 / 授業料 / 実習費 / 教材費等の学校諸費 ※授業料等の減免を受ける前の総額	100 万円
家賃 月額 (50,000) 円 × 12か月 / 敷金 / 礼金等	70 万円
食費 / 水道光熱費 (電気・ガス・水道)	50 万円
通信費 (携帯電話・インターネット等)	15 万円
趣味 / 部活サークル / 友人との交際費	30 万円
その他 (家電購入費)	15 万円
その他 (雑費)	10 万円
合計	290 万円

1万円未満は切り捨てて記入してください。

(3) 必要なお金の調達方法

内容	当財団に採用された場合の受給予定	金額(年額)	
授業料等減免	大学院による入学金の減免予定額	28 万円	
	大学院による授業料の減免予定額	53 万円	
奨学金等	松園尚己記念財団	84 万円	
	日本学生支援機構による給付型奨学金	0 万円	
	日本学生支援機構 一種 (0 万円)	継続 / 辞退 / 減額 (万円)	0 万円
	日本学生支援機構 二種 (96 万円)	継続 / 辞退 / 減額 (60 万円)	36 万円
	〇〇〇奨学金 (12万円)	継続 / 辞退 / 減額 (万円)	0 万円
その他	アルバイト	20 万円	
	家族や親戚からの仕送り / 学費の援助	70 万円	
		万円	
		万円	
合計		291 万円	

本欄は申請時においておおよその見当を伺うものであり奨学生内定後に資金内容(他機関での併願や併給、学費の減免など)に変更が生じた場合でも内定取り消しや当財団の奨学金が減額されることは一切ありません。

(4) 受給予定の奨学金や学費免除

松園尚己記念財団の奨学生に採用された場合、〇〇〇奨学金12万円は他の奨学金との併給ができないので辞退し、日本学生支援機構の第二種奨学金額を減額する予定です。

授業料などの学費免除制度がある場合は概要を記載してください。

SP ⑤

作文 ※自筆、指定用紙2枚以内

タイトル

テーマは「自己PR」

※ オリジナルのタイトルをつけて自身について自由に書いてください。

Lined area for writing the composition.

記入例

SP ⑥ 推薦書

本書は署名以外をパソコンで入力することも可能です。
ウェブサイトより書式フォーマット(xlsx形式)をダウンロードしてご利用ください。

公益財団法人 松園尚己記念財団 御中

学生名	○山 ○子	推薦者名	○本 ○○
推薦者 勤務校名	○○ 大学	所属	○○ 学部 ○○ 学科
学生との関係	担当教授	勤務先 電話番号	××× - ××× - ×××

被推薦者である学生の個人名は使用せず「本学生」と記載してください。

上記の学生は、貴財団の奨学金を受けるにふさわしい者であることを認め推薦いたします。

記入日

推薦者署名

2022 年 3 月 20 日

推薦者が自筆で署名してください。

印